

1.2 委員会概要

① 委員会の設置について

大田区の総合防災力をよりいっそう強化するため、区民等の幅広い参加を得て、区の総合防災力について検討することを目的に、平成 23 年 7 月に区内各分野の区民が参画した「大田区総合防災力強化検討委員会」を設置しました。委員長には明治大学大学院教授の青山侑教授が、副委員長には大田区自治会連合会副会長の中島寿美氏と蒲田駅周辺滞留者対策推進協議会座長の藤田静男氏が選任され、大田区の総合防災力の向上をはかるための方策について検討を行いました。

② 委員会の開催概要

全部で 4 回の検討委員会を開催しました。

委員会は、各委員が捉えている区の防災上の課題について共有することから始まり、委員からの意見を基に課題解決のための方向性として「区の総合防災力強化を実現するために大事にしたいこと」（資料 4）にまとめ、これを踏まえて総合防災力強化のための重要対策とすべき事項とその内容や取り組む主体者等について議論し、これらの結果を本報告書に取りまとめました。各委員会の開催概要は以下のとおりです。

表【資】1-1 大田区総合防災力強化検討委員会の実施概要

回	委員会の実施概要
第 1 回	<p><開催日時等></p> <p>開催日時：H23 年 8 月 4 日（木）19：00～20：30 開催場所：大田区役所 11 階 第三・第四委員会室</p> <p><作業概要></p> <p>初回の委員会は、各委員から今後大田区の防災力を強化する取り組みを考える上で把握しておくべき課題につながる意見を共有しました。委員からは、さまざまな角度から意見が発表され、大田区の抱える防災上の課題を改めて認識しました。</p> <div></div>
第 2 回	<p><開催日時等></p>

回	委員会の実施概要
	<p>日時：H23 年 9 月 27 日（火） 19：00～20：30 場所：消費者センター2 階大集会室</p> <p><作業概要></p> <p>作業部会において、委員会での意見や協定団体等へのアンケート結果、議会や庁内などから寄せられた意見から、「課題の本質は何か」「課題解決のために大事なことは何か」について検討しまとめた「区の総合防災力強化を実現するために大事にしたいこと（素案）」をたたき台に、課題や大事にしたいことの視点・内容について検討を行いました。</p> <p>前回の流れをくみ、防災に関する区民の意識を向上させ、関係どうしの連携や協力を強化することを通じて日常生活の中で防災への取り組みを強めていくという観点から協議した結果、「つながる」「連携する」ことを大事にした意見が多く出され、「地域力の結集」というキーワードが生まれるきっかけとなりました。</p>
第 3 回	<p><開催日時等></p> <p>日時：H23 年 11 月 11 日（金）19：00～20：30 場所：大田区産業プラザ PiO 4 階コンベンションホール</p> <p><作業概要></p> <p>第 2 回の委員会後、作業部会において、「命を守る」「生活を維持する」という観点から優先順位付けし、洗い出した重点対策を基に「報告書（素案）」を作成しました。</p> <p>第 3 回の委員会では、「報告書（素案）」をたたき台として、「目的」「総合防災力強化」に向けた基本的な考え方と方針」「大田区の防災課題」「防災力強化のための重要対策」の各項目の内容について討議しました。</p>
第 4 回	<p><開催日時等></p> <p>日時：H24 年 1 月 17 日（火）19：00～20：45 場所：大田区産業プラザ PiO 3 階特別会議室</p> <p><作業概要></p> <p>第 3 回の委員会後に実施したパブリックコメント（募集期間 11/24～12/16）及び区民説明会（12/11、於・日本工学院専門学校、来場者 218 名）を通じて区民等から出された意見や要望を基に、各部の意見も踏まえ、作業部会等が「報告書（素案）」を修正し、より多くの区民の意見を反映しました。</p> <p>第 4 回委員会では、修正された「報告書（案）」を基に、さらに適切で効果的な内容や表現となるよう各章毎に検討をはかり、報告書の内容の充実を図りました。</p>